

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区白河3-10-8 福進ビル1～3階
施設名	小鳩保育園 清澄白河

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

組み合わせ遊び

〈テーマの設定理由〉

子ども達が夢中になって遊ぶ時には異なる玩具、用具などを組み合わせて遊びを広げる姿が多く見られる。組み合わせで遊ぶ過程のなかで、試行錯誤を重ね、新しいものを生み出す体験や柔軟な思考、発想力を培ってほしいと考えテーマに設定した。

2 活動スケジュール

12月 話し合いをもとに環境を設定し、少人数グループで音楽あそびの活動を行う。
午睡時間に参加職員で振り返りを行う。
1月 クラスごとに12月の振り返りをもとに、参加していない保育者へ共有する。
2月 年間の振り返りを行い、保護者や外部への周知を行う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

音やリズムを楽しみながら遊びを広げていけるよう、鈴やカスタネット、タンバリン、ベルなどの楽器を用意した。また、画用紙やテープ類、木切れ、カプセルなどの素材も取り入れ、音の出方や使い方を工夫しながら組み合わせで遊べるようにした。さらに、素材や用具を手に取りやすい位置に配置し、自分で選びながら音や動きを楽しめる環境とした。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

楽器や素材を取り入れ、それらを組み合わせながら音を出したり、音の違いを楽しんだりする活動を行った。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

・カプセル同士を合わせて音を鳴らしていた。衝撃でカプセルが開くと、チェーンやブロックを入れて振ったり投げたりしながら遊んでいた。中に入れるものの大きさや量によって音が変わることに気づき、繰り返し試す姿が見られた。「シャカシャカしている」「カタカタ鳴る」など音の違いを言葉にしたり、「さっきと違う音がする」「いろいろ入れると音が重なる」など、比べながら楽しんでいた。

・鈴やベル、タンバリンなどの楽器や音の出る玩具で遊ぶ中で、その音に合わせて体を動かす姿が見られた。保育者も一緒に音を鳴らしたり歌を口ずさんだりする中で、音に合わせて歌ったり踊ったりし、関わりながら遊びが広がっていった。



活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(ホームページ等で公開する可能性がありますので、公開可能なものを)

5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子どもたちは、素材や玩具を組み合わせる中で、音の違いに気づき、繰り返し試しながら楽しむ姿が見られた。中に入れるものや量によって音が変わることを面白がり、比べたり確かめたりする様子があった。また、音に合わせて体を動かしたり、歌ったりする中で、他児と関わりながら遊びが広がっていく姿も見られた。

こうした姿から、子どもは組み合わせることで音の変化や面白さに気づき、自分なりに試しながら遊びを深めていくことが分かった。保育者は、その過程を大切に、子どもの気づきや試す姿を支える環境や関わりを今後も意識していきたい。